ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	NO.B-3	調査位置						北　緯	36 ° 44 ’ 44.4500 ”
発 注 機 関	栃木県日光土木事務所　整備部			調査期間	2010-11-02 ～ 2010-11-05			東　経	139 ° 30 ’ 50.1500 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	1069.82 m	角度	180° 上 90° 下 0° 45.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 17.00 °	使用機種	
総 掘 進 長	11.50 m								

試 錐 機		ハンマー落下用具	
エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
	1069.02	0.80	0.80		埋土 (Fl)	暗灰			0.3m擁壁。以下は基礎Co.															
1	1067.82	1.20	2.00		砂混りシルト	暗褐		軟らかい	埋土及び崖錐 軽石混じり土質乱れる。 含水比は下位から中位。															
2	1066.97	0.85	2.85		有機質シルト	暗褐		軟らかい	旧表土層 含水比は下位から中位。土粒子は均一。下部、ローム混じる。															
3	1066.47	0.50	3.35		火山灰質粘土 (CHV)	茶褐灰		中位	固結したスコリア塊、軽石混じる															
4	1064.57	1.90	5.25		礫混り火山灰質粘土 (CH-GV)	茶褐		中位	礫径2から15mm火山礫・角礫混入径5から35mm固結したスコリア塊、軽石多く混じる。 含水比は下位から中位。 やや軟弱層となる。															11/03
6	1061.42	3.15	8.40		礫混り火山灰質砂 (S-GV)	茶褐灰	中ぐらい		礫径2から20mmの火山角礫混じる。 火山灰質粗砂・中砂主体。 含水比は下位から中位。 固結したスコリア混じる。 微量の粘土分混じる。 7.05から7.95m間、軽石粒多く混じる。															
9	1058.32	3.10	11.50		安山岩 (An)	暗紫灰	非常に密な		コア長5から30cm主体。 少量の亀裂あり。亀裂面は暗褐色 ハンマー叩き高音。岩質は硬い。 9m迄RQD=70%、岩級区分CH級。 10m迄RQD=79%、岩級区分CH級。 11m迄RQD=84%、岩級区分CH級。 11.4m迄RQD=22%、岩級区分CL級。															11/04 11/05